

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立宮の森小学校 3年生 95名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	「雪と遊ぼう～冬の楽しみを知り、伝えよう」 本校では、3年生の総合的な学習のカリキュラムの中に「雪」をテーマにした学習が位置付けられている。そこで、これまで本校で取り組んできた総合的な学習の内容に、オリンピックミュージアムでの学習を加え、冬のスポーツの魅力を感じることや、オリンピックに対する関心の醸成、そして札幌がオリンピックを誘致する計画を立てている点から札幌に対する誇りや愛情を育むことを目的に本実践を計画した。
5 取組内容	オリンピックミュージアムでは、オリンピックの歴史についての説明、スポーツの体験、オリンピックからの講話を行った。特にオリンピックからの講話では、スノーボードの村上大輔選手がピョンチャンオリンピックスノーボードハーフパイプに出場した平野歩夢選手のコーチをしていることから、子どもたちのオリンピックやスノーボードに対する興味・関心を喚起させる内容であった。 ○指導計画 【3時間扱い】 「総合的な学習の時間」3時間 「雪と遊ぼう」 2年生に雪遊びの楽しさを伝えるという狙いを持ち、冬のスポーツの楽しさや魅力を学ぶために、オリンピックミュージアムで学習する活動を位置付けた。



6 主な成果

今回、東京オリンピックのマスコット投票という機会もあり、子どもたちはオリンピックに対する関心を高くもっていた。そのため、オリンピックミュージアムで学習することや、オリンピックから話を聞けることに対しても、意欲的に学習できたと感じている。

以下は本実践後の子どもたちの振り返りの一部である。

今日はいつもより楽しくすごしました。村上選手が冬のスポーツのよさやオリンピックの大切なことをおしえてくれてよく分かりました。

スノーボードはこわいけど、ゆきがより好きになりました。色々なまようきがあってまようみをもちました。こんどは、たのしくあうえんできるとなると、色々なまようきのめんやにがんはこほしいです。

今日、村上選手からお話を聞いてすごかったのは、オリンピックに2回も出場したところです。あと、おとうとにまけても、すぐにたち直って、その次のオリンピックに出場していつにからすごいなと思いました。

さらに、今回の学習で最も成果として挙げられるのは、子どもたちのパラリンピックに対する関心が高まったことである。オリンピックはもちろん、パラリンピックに出場している選手や競技について「知りたい」という意欲が湧いたことが、大きな成果であった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

取組の内容に記載した通り。

8 主な課題等

・教育課程への位置付け

本校では総合的な学習の時間に位置付けて今回の学習に取り組み、その意義や子ども学びとしてとても成果の大きいものであったと考えている。しかし、どの学校でも位置付ける際には、時数をどこから生み出すのか、どのようなねらいを設定するのかを、熟慮していく必要があると感じた。

9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。
-----------------	-------------------------------